



駒林小 学校便り

～2023年4月、駒林小学校は創立50周年を迎えます～

令和4年度
6月号

校外活動に向けて

副校長 柏木 次郎

大型連休も終わり、様々な行事が行われるようになってきました。連休中は大きな事故等の報告もなく、5月は、よい再スタートを切ることができました。私たち教職員もやれないことを嘆くのではなく、どのような方法を取れば児童の皆さんの成長につながる行事を行うことができるかをチーム一丸となって考え、さらに前向きに取り組めるようになってきました。感染症対策、熱中症対策など課題はたくさんありますが、校外学習を行うことで得られる学習効果とのバランスを考え実施していきたいと思っております。

5月12日(木)には4年生の社会科見学がありました。地下鉄に乗り、横浜市資源循環局都筑工場に行ってきました。私は学校で見送ることしかできなかったのですが、子ども達のワクワク感が伝わってきました。私が「行ってらっしゃい。」と言うと、まるで練習していたかのように全員の息がピッタリと合った「行って来ます。」が大きな声で返ってきました。そのような姿を見て、今年度ももっとこういう経験をしてほしいと強く感じました。また現地で実際に見て、聞いて、感じる活動は児童にとって、心に残りやすく、深い学びとなります。その後の教室での学習にも大きな影響があります。このあと、4・5・6年生は宿泊の学習も予定されています。それぞれの学年の成長に合った学習の場を提供していきます。

そのような思いをもちながら、教職員も準備を進めており、見学する施設、バス、宿、レストラン等の予約をしています。しかし万が一この先、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されるなど場合には、残念ながら延期、中止になってしまう可能性もあります。その時はキャンセル料のご負担を保護者の皆様にもお願いすることとなります。旅行会社、バス会社、ホテル等も苦しい中、最大限の協力はしてくれていますが、限界があります。私たちもできる限りの調整はしていきますが、実りのある子ども達の学習のためにご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止のために学校の予定が急に変更になるときには、メール配信やホームページでもお伝えしますので、ご承知おきください。